

平成24年5月8日

受益者の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

欧米株式市場の下落と「T&Dワールドコモディティ株投資1106 (限定通貨選択ー米州大陸通貨ー)」への影響について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

欧米株式市場の足許の市場動向と「T&Dワールドコモディティ株投資1106(限定通貨選択ー米州大陸通貨ー)」への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

◆ 足許の市場動向

5月3日に発表された米ISM非製造業景況指数と、5月4日に発表された4月の米雇用統計が市場の事前予想を下回ったことを背景に、足許で世界経済の牽引役として期待されていた米国の景気減速が懸念され、米国株式市場および欧州株式市場は、5月2日から5月4日までの3日間連続して下落しました。

米国をはじめとした世界経済への先行きに対する不安から、コモディティ市場では、ニューヨーク原油先物相場が、2月以来の2ヵ月ぶりに1バレルあたり100米ドルを割り込み、また、金や銀、プラチナといった産業用メタルも軟調に推移しました。

為替市場でも同様に、米国の景気減速懸念から、米国を最大の貿易相手国とするカナダやメキシコの通貨が、円に対して下落しました。

当ファンドのポートフォリオにおいても、これらの市場動向によりほぼ全ての銘柄が下落する展開となりました。セクター別では、特にエネルギー関連銘柄が大きく下落しました。また国別では、米国やカナダといった北米市場に加えて、英国やオーストラリアの銘柄が大きく下落しました。

◆ 今後の見通し

今後の見通しとしては、欧州債務問題と、米国経済の先行きに対する懸念により、足許の株式やコモディティなどのリスク資産全般について不透明な展開を予想しております。しかしながら、中期的には、新興国などの力強い経済成長を背景にコモディティ市場の需給が逼迫し、コモディティ価格が上昇していくことをメインシナリオとしていることには変わりはなく、関連する株式の価格上昇による収益獲得を目指して、現在のポートフォリオ運用を継続いたします。

◆ 当社ファンドへの影響

ファンド名	平成 24 年 5 月 2 日 基準価額 (円)	平成 24 年 5 月 7 日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
T&Dワールドコモディティ株投資1106 (限定通貨選択—米州大陸通貨—)	9,180	8,606	▲574	▲6.25

◆ 市況情報

(小数点第2位以下四捨五入)

	平成 24 年 5 月 1 日	平成 24 年 5 月 4 日	騰落率 (%)
S&P GSCI コモディティ インデックス (エクセスリターン)	501.35	476.55	▲4.95

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、5月1日から5月4日としています。

	平成 24 年 5 月 2 日	平成 24 年 5 月 7 日	騰落率 (%)
カナダドル(*1)	81.36	80.07	▲1.59
メキシコペソ(*2)	6.22	6.02	▲3.22
ブラジルリアル(*3)	41.77	41.17	▲1.42

(*1) 為替レートは三菱東京UFJ銀行の対顧客公示相場の仲値(TTM)

(*2) 為替レートはゴールドマンサックス証券の対顧客公示相場の仲値

(*3) ブラジルリアルの為替レートは、前NY営業日のNY16:00頃のNDFレート(リアル/米ドル)と当日のTTM(米ドル/円)とのクロスレートを表示しています。

出所:ブルームバーグ

※文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。海外市場のデータは基準価額への反映を考慮して1営業日前のものを使用しています。

ご留意いただきたい事項

- ◆ 本資料は受益者の皆様に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載した情報は、当資料作成時点におけるものであり、将来の運用成果を予想あるいは保証するものではありません。
- ◆ 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- ◆ 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。
- ◆ 運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。